

# 「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	飛騨市	学校名	古川中学校		
校長名	中村 裕幸	対象学年	全校	人数	388人
項目	○	① 小・中学校の関連性や発展性を踏まえた実践や、幼稚園、高等学校、特別支援学校等と連携を図った実践			
	○	② 県内施設や地域人材等の外部資源を活用し、岐阜県が誇る自然・歴史・文化・産業等の体験を通して学ぶ取組を効果的に位置付けた実践			
	○	③ ふるさと学習を核として、総合的な学習の時間と各教科、特別の教科道徳等との関連を図った教育課程を編成し取り組んだ実践			
学校の教育目標	自主 自ら考え 判断し 行動する姿 自律 目標をもち 粘り強く やり抜く姿 協働 仲間と協力して取り組む姿				
活動のねらい	飛騨市の学校教育の方針「志を語り合い しなやかに挑み続ける飛騨びと」を具現するために、全校体制で、地域で活躍する様々な方（防災・職業・マイプロで関わる方）から思いを聴いたり、実際に仕事の体験をしたりしている。普段から取り組んでいる「自分らしきのレベルアップ」を実現するために、これらの活動や体験を通して、ふるさと飛騨市のために貢献したいという意欲と、自主・自律・協働の力を身に付ける。				

## 1. 防災教育～地域をもっと深く知る～(1年生)

### ① 活動の特色

「防災」を題材に「探求心と表現力」の育成を目指す。生徒たちが、防災を「自分事」として捉え、地域をフィールドに知識や技能を学び、そこから自分で何ができるか、どう取り組むかを考え、実際に行動に移す。

### ② 活動の様子

- 防災キックオフの会（オリエンテーション）
  - ・シミュレーションゲームを通して、災害時の「自助」「共助」を学ぶ。
  - ・飛騨地域の特性・「自助」「共助」「公助」・情報収集の方法などを学ぶ。
- 防災マイプロのターゲットの決定
  - ・具体的に「誰を助けたいのか?」「誰と一緒に防災マイプロを考えたいのか?」という顔の見えるプロジェクトを作る。
- 地域調べ防災
  - ・長期休業日を利用して、防災タウンウォッチングへの参加、防災マイプロのターゲットへのヒアリングを行う。
- アクション内容の決定
  - ・自分の防災マイプロでは「誰のために」「何をすることで」「何を解決したいのか」を具体的にする。
- 地域への発信（アクションの実行）
  - ・考えたことをアイデアで終わらせるのではなく、設計したプロジェクトを実行に移す。

【シミュレーションゲーム】

【アクション内容の決定】

【アクションの実行】



### ③ 今後の取組

- アクションの振り返り（アウトプット）
  - ・実行したアクションについてチーム、個人で振り返りをして、継続する点と改善する点を明確にする。
  - ・振り返りまでの活動内容を分かりやすくまとめ、伝えるように整理する。（プレゼン対象：古川小学校5年生を予定）

### ④ 生徒の感想

・自然災害が起きるたびに、こんなにもたくさんの人に助けられていることに驚きました。これから自分は自然災害の被害に遭うかも知れないから、自分の命は自分で守りたいし、周りの人に頼るのもありだなと思った。  
 ・防災食レシピを通して、災害が起きた時に少しでも不安や恐怖を取り除けて、安心や笑顔が増えて欲しい。

## 2. 職業(キャリア)教育～地域と深く関わる～(2年生)

### ① 活動の特色

「職業」を通して「地域と深く関わる」授業や活動を実施し、「職」についてインプットした結果を受け、飛騨市内の事業所で職場体験を行う。また、カリキュラムの中で、国語科×総合の往還によって、表現力の育成を図った。

### ② 活動の様子

- ハローワーク・障がい者支援施設の方の講話
  - ・「働くとは」という基本的な考え方を学び、実際にどのような職種があるのかを学んだ。
  - ・福祉の仕事に対する姿勢や考え方から、「働くこと」の意味を考え、自身の職業選択にいかすことができる。

○ 職場紹介シートの作成

- ・国語科で学んだ「説得力や伝わりやすさを生み出す工夫」を、さらにプロの新聞記者の講話を経て、シート作成にいかした。教科での学びを「総合的な学習の時間」で発揮・活用する、いわゆる「往還」を図ることで、求められる力を高めた。

○ 職場体験

- ・市内50カ所の企業や事業所にご協力いただき、2日間の職場体験を実施した。事前に生徒は、調べ学習や各事業所と打ち合わせをするなど、目的意識をもって取り組んだ。

【ハローワークによる講話】

【プロから学ぼう～新聞記者～】

【職場体験】



③ 今後の取組

- ・企業数社の方にご来校いただき、職場体験シンポジウムを実施する。生徒と「職場体験で学んだこと」を交流したり、企業の願いを理解したりする。
- ・自分らしさとは何か」「今後どのような将来を思い描くか」「どう生きたいか」を考え、マイプロプレゼンを制作し、親御さんに紹介する。3年生の地域貢献マイプロに向けて、自分がやりたいこと、地域のためにやりたいことを具体的にもつ。

④ 生徒の感想

- ・地域の方は、地域の人々の暮らしや健康、安全を守るために働いている。職場によって違うかもしれないけど、誰かの明日を守るために働いているのだと感じた。
- ・働く上で大切なことは、コミュニケーションをしっかりととることだと思いました。これから自分がどんな仕事についても、人との関わりを大切にしていきたい。

### 3. 古川中マイ・プロジェクト～地域に深く貢献する～(3年生)

① 活動の特色

大正大学の浦崎教授のご助言と、飛騨市まちづくり観光課などの行政や観光協会等のご支援のもと、各自が「自分は地域のために何ができるのか」を考えたり、地域の方々からのニーズに応えたりして、プロジェクトを立ち上げ、実行に移す。

【プロジェクトの考え方】

自分の想い(興味・関心等)やよさ(得意・好き等)を活かして、人から「ありがとう」と言われる活動の創造(企画)と実施

② 活動の様子

○ マイプロ・キックオフの会

- ・浦崎教授によるマイプロ講話や松井准教授(新潟大学)による「まちづくり」講話、飛騨市まちづくり観光課課長の話を聞き、マイプロの考え方を理解し、実際に何ができそうかを考えた。

○ マイプロ活動始動

- ・「自分ができることで地域に元気を届けたい。何か役に立ちたい」「飛騨市をPRするビデオを作りたい」「町中に多い空き家を活用できないか?」等々、各自がテーマをもって計画し、実践に取り組んだ。

【マイプロ・キックオフの会】

【マイプロ文化祭】

【地域行事ボランティア】



③ 今後の取組

自分の活動(マイプロ)を振り返り、「願い」がどの程度実現できたか、「自分らしさ」がどのように発揮できたのかをまとめる。様々な方へ自身の実践や学んだことを発信し、卒業後も地域貢献への思い、主体的に活動する姿勢を持続させていく。

④ 生徒の感想

- ・自分の得意とすることや自分ができることで、少しでも地域の役に立ったことがうれしかった。これからも自分の長所を伸ばし、地域にも貢献していきたい。
- ・マイプロを通して、飛騨市の魅力を改めて知ることができた。この魅力を他の地域にも広く知ってもらい、飛騨市の観光にいかしていけたらと思う。

### 4. 部活動・委員会・有志マイプロ

○ 「地域に元気を届けるプロジェクト」の実施(吹奏楽部、合唱部、等)

- ・地域に元気を届ける吹奏楽部によるミニコンサート(近隣保育園訪問、市図書館前、イベント「ぼんぼりゆめ街道」)、合唱デュオによる合唱コンサート(イベント「ぼんぼりゆめ街道」、「飛騨市食と森の祭典」)の実施

○ 読み聞かせボランティア(図書委員会)

- ・飛騨市図書館の「ハロウィンイベント」において、利用者に対する絵本や紙芝居の読み聞かせを実施

○ 有志による地域貢献活動

- ・市や地域団体からの依頼に対して協力・参加・参画。「古川祭ゴミ拾いボランティア・アンケート協力隊」「ひまわりプロジェクト参加」「千代の松原公園づくりワークショップ」「古川町文化祭・生涯学習展片付けボランティア」等、多数